

第2回美祢市総合計画審議会 都市計画部会 議事録

日時：令和元年7月12日（金） 18時30分～

場所：美祢市民会館 第3会議室

	委員区分	団体名	氏名	出欠
1	副部会長	美祢市議会	戎屋 昭彦	
2		公募	井上 敏雄	
3		公募	西田 早紀子	欠席
4		山口県議会	森中 克彦	欠席
5		山口県宇部県民局	磯村 昭二	
6	部会長	美祢青年会議所	内海 満夫	
7		美祢市内郵便局	加藤 美智子	
8		美祢市男女共同参画審議会	小林 法子	
9		山口銀行	稗田 裕司	欠席
10		山口新聞	平岩 和也	欠席

<資料>

次第、委員名簿

第二次美祢市総合計画「基本計画」素案

第二次美祢市総合計画「総合戦略」素案

1 開会

事務局より開会あいさつ

2 部会長あいさつ

～部会長～

一般社団法人 美祢青年会議所の内海と申します。第1回目不参加でしたが、本日第2回目の部会ということで様々ご意見いただければと思う。

3 議事

(1) 第二次美祢市総合計画基本計画の関係部門(案)について

事務局より説明

部会長：何か質問はあるか。

委員：全頁に共通しているが目標指標の数値が入っていないものがあるが全部埋まるのか。

事務局：部会に間に合わなかったが現在入っていないものについても数値は全部入れる予定である。

委員：P2 目標指標 住宅用火災警報器の設置率が9割となっているが、この数値は正しいのか。

事務局：消防局が調査して毎年ランダムに調査して90%はあるようだ。設置義務から10年経過している。アンケート回収の結果となっている。

委員：住宅用火災警報器について、1件の家で1か所あればいいのか、設置するべきところ全て設置されているのかで結果はかわるのでは。

事務局：住宅用火災警報器について、1か所のみでいいのか、すべて満たしてよしとするのか、他市町村の総合計画では、1か所のみでよしとしているところもある。数値についてはもう一度確認する。

委員：やはり住宅用火災警報器の設置率9割は少しひっかかる。現状と目標と同じものは問題になっていないという意味か。

事務局：そのような数値は目標を達成しているため、今後も現状維持でしていくということで記載している。

委員：団員は少ないという印象はある。集合されて統合。奥分地区は3つあった団を1つに統合している。防災の視点をもつのであれば、消防団員数も考えていく必要がある。

事務局：住宅用火災警報器の設置率と消防団員については消防と協議する。目標の数値と現状が同じところは注意書きで対応する。

委員：前回の部会で女性消防団員も意見をいった。いざという時に女性の団員も必要で、この数値に女性も含まれているのか。

事務局：女性団員については、消防と協議したい。

委員：消防団員の割合(907人)で令和11年までの目標であり人口も減少していると思う。人口が減った中でパーセントを維持するのか。もしくは人数を維持するのかそこはどういう意図か。

事務局：減った人口に対するパーセントになろうかと思う。

委員：現状と課題 4つ目に住宅防火・防災対策の推進について記載されているところで、地震などの緊急時に住宅用火災警報器が必要とのことで、防災意識の一環という文章だと思う。住宅用火災警報器を設置することが防災につながるという主旨であれば、このままでいいと思う。しかし、数値目標の住宅用火災警報器は意識なのか設置率なのかうまく整理(対比)されていない。

主な取り組みで森林の維持が記載されているが、数値目標が入っていない。

事務局：取り組みの方向性と目標についてはもう一度検討したい。主な取り組みで治山・治水の推進で森林の維持と記載しているが、それに対応する目標数値はなかなか見当たらない状況。もう一度、森林関係課と協議したい。

委員：P14 公共交通の充実 現状と課題 2つ目の文章で「この度の地域公共交通の再編実施により、

本市のまちづくりにつながる公共交通網を構築しています」はここまで言い切っているのか。少し疑問が残る。

事務局：言い切りはベストな状態になっているので、その点はチェックして言い直しなど検討する。

委員：バスと JR の記載が入った。美祢駅だけを中心に展開するのか、その他のバスや民間の路線などどのような扱いになるのか。

事務局：美祢駅だけではなく、民間のバス路線、アンモナイト号、鉄道、ジオタクシーなど記載に偏らないように検討する。

委員：再編実施について公共交通の実施計画に記載されているものなのか。主な取り組みで地域公共交通の活性化か再生は同じ意味なのでは。

事務局：再編実施は実施計画に記載はされている。活性化と再生の文章については精査したいと思う。

委員：P3 主な取り組み1 安全意識の啓発 高齢者に対して運転免許所の自主返納を促進するとあり、その後の対応は削除されているが、削除された箇所の記載はなくてもよいのか。

事務局：この5年の計画となるのである程度広い範囲での記載となっている。運転免許所の返納を促進する支援ということで、色々な公共交通の支援等を加味した表記としている。

委員：同じページの現状と課題で1つ目、2つ目は防犯、3つ目、4つ目は交通というくくりになっており、流れていうと並びが反対のような気がする。

取組の方向で「市民の交通安全意識や防犯意識を高める」というのは同じくくりにしてしまうとおかしくなると思う。交通整備のハード整備についての記載はあるが、防犯については防災カメラの設置などを入れて犯罪のないまちづくりにつなげていくような主旨の文章が追加してほしい。

事務局：その点は検討する。

委員：P10 土地利用の推進 目標指数の用途地域内の人口率を増やすとある。前はパーセントがなかったが今回は記載されている。この用途地域内というワードは一般の人がみてもわからない。用途地域ではないところが美祢市にはたくさんある。パーセントだけをあげるといことは、田舎の人を都市部に集約し率を上げることになり少し話が違うのでは。集約型都市構造はまちの中心に人を集めることではない。削除したほうがいいのか。

事務局：建設課に方向性と数値項目は精査する。

委員：P9 消費者の安全 目標指標 消費生活相談者数は35人なのか。相談員の数値ではないのか。

事務局：商工労働課にこちらについての詳細な数値は確認する。

委員：現状、方向性、主な取り組みの文章の流れをみると、消費生活センターがメインで市のやることが消えているような意味にとれる。しっかりサポートするという記載ではないといけないのでは。

委員：消費者数は35名程度だが相談員の男女比はどうなっているのか。女性の相談員を置いてほしいと意見があった。そのあたりも検討してほしい。

事務局：消費生活センターには女性の方もいると思う。

委員：P16 現状と課題 「山口県央連携都市圏域」という名称となっているのか。

事務局：そういう名称となっている。

委員：現状と課題からのつながりが少し違和感がある。現状と課題 1つ目と4つ目、最後は主な取組の2番安定した財政運営につながる。現状と課題 2つ目と3つ目は主な取組2番に関連。現状と課題 5つ目は主な取組の4番に関連。現状と課題 6つ目、8つ目は主な取組の5番に關

連。現状と課題 7つ目は主な取組3番に関連。
公共資産の適正運用についての現状と課題がないように思う。
事務局：リンクするように修正はする。
部会長：その他質問はあるか。なければ次の議題に進む。

(2) 第二次美祢市総合計画総合戦略の関係部門(案)について

部会長：質問はあるか。

P4 住み続けられるまちづくりはSDGsゴール11番にあたる。民間事業と行政の連携はゴール17番 パートナシップにあたる。SDGsと関連付けて記載してほしい。

事務局：SDGsと関連付けられるものについては記載を検討する。

委員：P3の目標値 KPIでH33年となっているのを令和に修正。

事務局：修正する。

委員：P18 ソサエティ5.0はカタカナ表記か英語表記なのか。(総合計画では英語表記)

委員：表記について説明は入るのか。

事務局：難しい用語については説明を入れたいと思う。

委員：美祢市の特徴は何なのかと読んでもわからない。(総計・戦略)

委員：P1 地震の発生率、犯罪率 たまたま少ないだけであってそれを特徴と入れるのか。記載については検討がいるのでは。(総計)

事務局：根拠といえるものはないので、記載については難しい。

部会長：特色をもっているという記載ならわかる。

事務局：地震と犯罪が1文となっているのでわかりづらいのもう一度検討する。

4 閉会

事務局より閉会のあいさつ。